

モダンタイムス

2009年1月号 発行

新年明けましておめでとうございます。

2009年度、第1号のモダンタイムスです。

昨年末から不況、不安定な政治、また物騒な事件など、良い話を聞かない昨今ですが、クラブ員の皆様はどうお過ごしですか。こんな時代こそ体が資本です。寒い冬こそいつも以上に体を動かしましょう。

それには冬のスポーツ、スキーが一番です。

今シーズンこそ一度はモダン行事に参加し、体を動かし、日頃のストレスを発散させてください。

2009年度、正月スキー行事

昨年までの赤倉から、諸般の事情により、思い切って今年度、野沢温泉スキー場に場所を移し、宿も民宿を利用し、参加しやすいような行事設定にしました。

昨今の景気悪化による参加人数の減少や、スキースポーツの不人気を考え、役員一同知恵を絞って決定した内容です。

しかし、12月末になっても人数は増えず、結果、延べ14名の行事になりました。

交通も経費的にバス予定をやめ自家用車になりました。

参加者 刈込、谷村、津村、奈良橋、栗本、高橋、安部、山崎、石川、山田、松本、渡辺、磯辺、田島



12月30日 夜、刈込、津村の2台の車で7名が出発し、1日早く現地入りしている松本、渡辺、磯辺、3名と31日早朝、民宿宮川で合流しました。朝食を済ませ、9時30分、野沢温泉スキースクールを開講いたしました。現在、小野塚前会長辞任の後、会長未決定の為、今年度は各行事責任者を役員が交代で行うことになり、今回は刈込が担当しました。

挨拶から始まり、体操、班分け。特に体操は中高年が多いことから十分に行いました。参加者のほとんどが上級者の為、まず技術向上班に松本、奈良橋、安部が入り、残りの4名は講習を交えたグレンデ巡り班となり出発いたしました。又講師は、刈込、谷村、津村3名が交代で担当し、皆上級者ということもあり、種目を追う内容ではなく、それぞれテーマを決め、それを柱に展開してゆく方法で行いました。

心配していた積雪も12月末の寒波のおかげで問題なく、全山滑走可能という最高のコンディションでした。

夕刻1日遅れで、山崎、山田、石川の3名が合流し、夕食を囲みました。なにか例年の盛り上がりには遠い感じに思いましたが、これも今の世の中を映し出している様でしたが、睡眠不足と疲れのせいにして、明日からの滑りを考え早めの消灯にしました。

1月1日 昨夜からの雪がやまず、広いグレンデは最高の新雪、ブーツがもぐる程度のかるい新雪のなか、皆十分に滑りまくりました。特に目を引いたのは栗本、高橋のベテラン2名です。栗本氏は一年のライフサイクルを体調、体力面で全てこのモダン行事に照準をあわせているそうです。それだけ楽しく、又楽しみにしている事は役員として大変うれしく、そして充実した内容を提供できるよう頑張らなくては、と実感いたします。高橋氏は昨年、怪我で2年ぶりの参加でしたが、気持ちのこもった真剣な滑りで講師の後をしっかりついてきており、若い者の手本となる様な滑りでした。

もう1名奈良橋氏です。飲み友達がないせいもあり、この1日は積極的に講習に参加し、真剣に技術向上にはげむ姿は、最近目にした事ありませんでした。

また、うまくなった様な気がします。

1月2日 最後の参加者田島が合流し、フルメンバーとなり、午前講習、午後バッチテストという予定のなかグレンデへ出発しました。

天候は雪で、ときおりガスがかかる、決して良いとは言えないコンディションです。

野沢の検定バーンは、講師3名で検討し、スクールのバーンを使う事に決定しました。今回は安部1人の受験でしたが、一昔前の何十人もの受験者がいた頃をなつかしく感じ、これも時代と割り切り、当時以上に気合いを入れ、真剣に5種目を行いました。

今の検定の考え方は、与えられた状況や条件に適応した技術で、それぞれの運動課題を表現し、それを評価することです。安部は数回目の受験でしたが、確実にうまくなっており、その意味でも1級の滑りでした。見事合格でした。自信を持って、さらなる向上を目指してください。おめでとうございます。

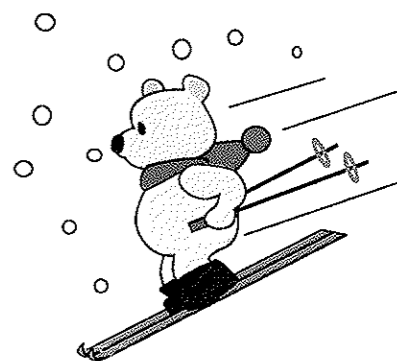
1月3日 4日目も雪になりました。帰京時間の相談になりました。天気も良くない、又この3日間でかなり滑り込んだ、との皆の意見。結果今日は滑らず早めに帰京しようという結論になりました。

しかし、まだ時間は早い。温泉は十分に入った。長野で正月、そうならば善光寺の初詣、全員一致で決まりました。

これも少人数で気の合う仲間だからこそこの結論だと思えます。野沢から約1時間善光寺でお参りを済ませ、信州蕎麦を食べ、東京へ向かい出発しました。

4日間通し、昔のような100人もの行事ではありませんが、それぞれの楽しみや喜びをスキーを通し感じた大成功の正月行事だったように思えます。

皆さんお疲れ様でした。



今回ひさびさの参加者

石川氏は3年前、脳血管障害の病気で倒れ、今回はスキーは断念し、湯量豊富な温泉が目的でした。一時は心配しましたが、元気になりました。来シーズンは一緒に滑りましょう。

渡辺氏、磯辺氏も久々です。プライベートでは滑っているようです。是非またモダン行事に来てください。

ある事件

2日目午後、午前中十分に滑ったとの事で、3名が早上がりし、温泉を楽しむということになりました。温泉の後、居酒屋で一杯。ボトルを一本空けた後のことです。内1名が急に座っていた椅子からフッと横に倒れました。意識も無かった様です。慌てた店の主人と連れの名、即救急車を呼びました。残りの1名は酔いが回り寝ていたそうです。救急隊員が到着し、応急手当をして様子を見たところ、病院搬送の必要はなく、お酒のせい、その場の手当だけで済みました。お酒は毒にも薬にもなります。ほどほどに良い飲み方をしましょう。

全日本スキー準指導員検定

2009年度、スキー準指導員検定会が3月、菅平で行われます。昨年惜しくも涙を飲んだ松本氏が再挑戦いたします。

今年こそはと頑張っています。3月まで30日以上は滑り込むそうです。

今年こそ頑張ってください。

応援しています。



和気あいの皆さん



ある指導員の独り言

「スキーにコツはありません。あるのは運動の仕組みだけです。」

自分なりの考えですが、長年の経験から生まれる(コツ)や個人によりどう受け取られるか解らない「フィーリングやこんな感覚」という言葉です。自分も以前困った時によく使いました。

しかし、現代のスキー道具の進歩はすばらしいものがあります。2シーズンでパラレルといった時代と違い今のカービングの板は3日も滑ればパラレルもどきが出来る時代です。

ただそれは、それっぽい滑りが出来るだけで、その板の性能を引き出したり、又コントロールする事とは程遠いものだと思います。その結果、事故や怪我など増えたりもします。

まず何故今のカービングスキーは曲がりやすいのか、どうして曲がるのか、またその機能を引き出すにはどのような操作や運動が必要なのか、そのような運動システムやメカニズムを理解し、それを実践して滑り込む事が上達の一歩の近道だと思います。これはけっして頭でっかちになることではありません。一度自分の乗っているスキー板の特徴などを研究するのも、上達のポイントだと思います。



クラブより

お久しぶり!!

モダンの皆様お変わりございませんか?お久しぶりです。退会を申し出て早5年? 昨今の諸事情により私の定宿も昨年閉鎖となり、さあーて、そう!私のスキーの原点、モダンスキークラブならばと申し込み、それも人を介してOK? NO!も何のその参加させて頂きました。それも皆さんより1日早くからですが、参加人数の少なかった事の驚き...そして唯一の女性参加にも...

今回の野沢温泉は外湯が13ヶ所もある楽しいところ。地図をではなく友を頼りに“全部制覇”しましたよ。ふふふー!まだの方はぜひ次回の参加を今から予定に!講習も2班に分かれて1級受験班と後期高齢者班。誰のこと?楽しい3日間でした。参加の皆様が上級の方々なので「まってえー」の声こそだしませんでしたが、今度はこっち、次はあちらと移動もスムーズで、1シーズン分滑ったのではと思うほど。

野沢温泉スキー場は、ひろーいの、滑りましたねえー!後期高齢者班の講習は堅苦しい事は無く、スタート前に注意点を聞き、滑るの繰り返し、それも毎回ではなく、私などは移動中の林道などを走行中、後ろから講師に「右・左」、「右・左」踵からテールに向けて圧を掛けて、ながーく乗る、などのアドバイスを受けながら「これがぼっちり」でした。気まぐれな私のこと、またいつの日か?の参加を夢見て楽しかった事に感謝し、参加の皆様、クラブの皆様に御礼を申し上げ次回に!

最後に1級受験にトライされた、あべくん、合格おめでとうございます。あべくんの“不整地の小回り”は見事でした!

今後のご活躍を期待いたします。

平成21年1月4日
磯辺 千代子



★モダンホームページを活用して下さい。

アドレス <http://modern-ski-id.hp.infoseek.co.jp/>

毎回谷村剛生さんが管理運営しています。クラブ員の近況、その他なにか情報がありましたら是非書き込んでください。